

平成27年度全国学力・学習状況調査の結果の特徴（和歌山県）

1 教科に関する調査結果（和歌山県（公立））の平均正答率について

小学校は、算数Aが全国平均を上回り、国語A・B、算数Bが全国平均程度、理科が全国平均を下回った。また、中学校は、数学Aが全国平均程度となり、国語A・B、数学B、理科が全国平均を下回った。

2 和歌山県（公立）と全国（公立）の平均正答率の差

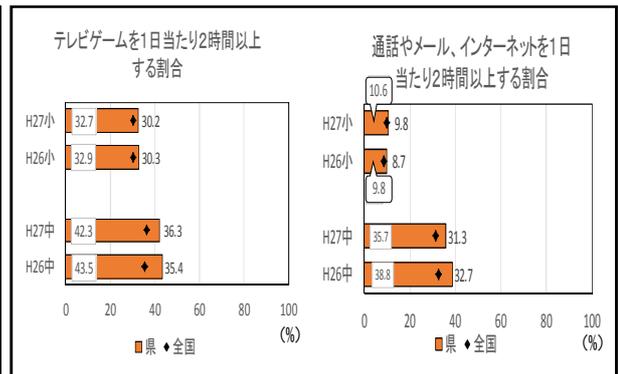
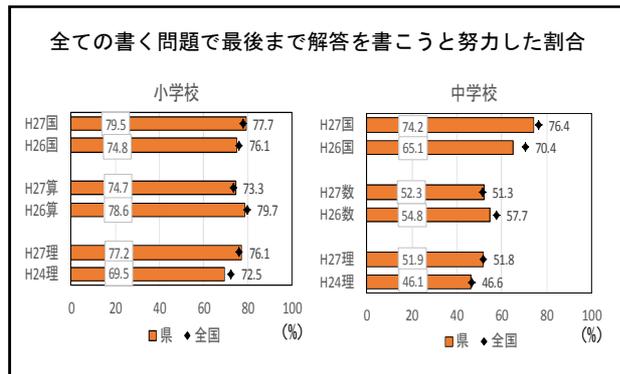
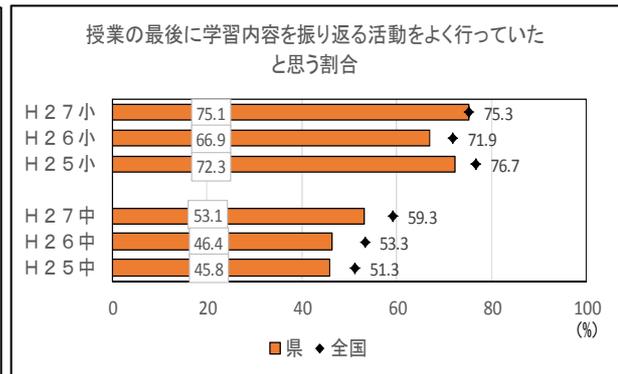
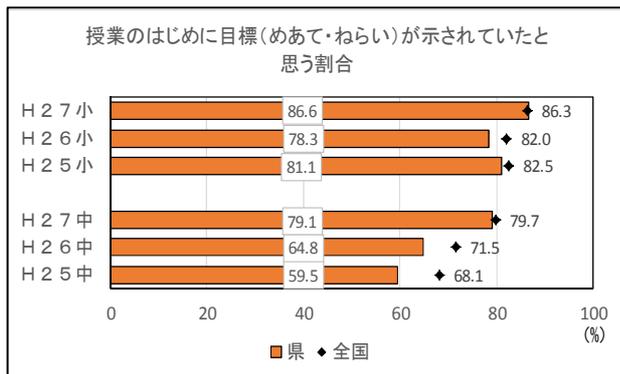
	小国A	小国B	小算A	小算B	小理	中国A	中国B	中数A	中数B	中理
県	69.5	64.5	75.6	44.9	59.0	73.4	62.9	64.0	39.6	50.1
全国	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0
差	-0.5	-0.9	0.4	-0.1	-1.8	-2.4	-2.9	-0.4	-2.0	-2.9

[参考] 全国での和歌山県（公立）の状況（順位）

小学校	国語A	国語B	算数A	算数B
H26	47	42	42	44
H27	31	31	16	21

中学校	国語A	国語B	数学A	数学B
H26	44	45	37	41
H27	44	45	25	37

3 児童生徒質問紙調査から



4 調査結果から

- すべての小中学校において、学力向上短期計画に基づく学力向上推進プランを作成し、実行することで、学校全体で学力向上の検証改善サイクルを確立することができた。
- 各学校がプランの実行を進めることで、児童生徒の学習に対する姿勢、調査に対する意識が向上した。
- 授業改善により、授業のはじめに目標が示されていたと思う割合が増加した。
- 授業の最後に、学習内容を振り返る活動については、小学校で改善したが、中学校は依然課題がある。
- 通話やメール、ゲームをする時間については、依然課題がある。